

# 式辞

春の訪れと共に、新しい息吹を感じる今日の良き日に、卒業式を迎えた明星中学校一・二名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

この二年間、新型コロナウイルス感染症が、全世界に蔓延する中、不便で窮屈な日々を過ごし、分散登校やリモート授業、部活動の制限や、体育祭、明星祭、研修旅行の延期や変更など、これまで経験したことがないことばかりで、皆さんはどう対応したらいいのかとまどったり、孤立感や不安感を感じたり、焦ったり悩んだりしながら過ごすして来たのではないかと思います。そのような二年間ではありましたが、先生方の情熱溢れる指導と、皆さん方の日々の頑張りと努力によって、今日の卒業式を迎えることが出来ました。先生方に心より感謝し、よくここまで頑張ったと自分自身を褒め、自信を持って下さい。

多くの皆さんが進学する明星高校は、来年創立百周年を迎えます。常に前向きな姿勢で校訓「健康・真面目・努力」を日々実践し、新たな舞台でのさらなる活躍ができる生徒になってくれるのを、とても楽しみにしています。

また、中学卒業をもって明星を離れ、新天地へと羽ばたく皆さん、生徒としてはお別れですが明星が、いつまでも皆さんの母校であることは絶対忘れないで下さい。先生方は皆さんの新天地での活躍を心より祈っています。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。これまで、深い愛情でお子様の成長を支えてこられた皆さまにとりまして、九年間の義務教育の修了は、本当に節目の時でもあり、大きな安堵と喜びの日であろうと、拝察いたします。また、これまでの明星の教育方針にご理解ご協力を賜り、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

さて、皆さんは、中学卒業という節目に際して、何を思い、何を感じているのでしょうか。

先日皆さんに、ウクライナ危機問題を取り上げ、世界の情勢にアンテナを張り興味・関心を持つように話をしました。興味・関心さえあれば、ウクライナ危機から火山のことを学ぶことができます。歴史的な事、地理的な事、政治や経済、民族や宗教、スポーツや文化、原子力や農工業、何故戦争が起きるかなど、数えきれないほどのことを学ぶことが出来ます。そして私は、皆さんが、「戦争がいかに悲惨であるか、人の命がいかに尊いか、戦争は絶対起こしてはいけないことなんだ」と、感じてくれることを、切に願います。

皆さんが、高校・大学から社会に出て世の中を支える力を身につけるためには興味・関心が一番大切です。何事に対しても興味・関心を持てば、積極的に学ぶことができ、学んだことが身に付いて、自分の知識と英知となります。まず、高校で学ぶ科目の基礎的知識を身につけて、いろんなことを体験して下さい。そうした学問上の知識と、体験から生まれる英知が、生きる力になります。私たちは今、コロナ禍で世界が大きく変わる歴史の転換点に立っています。自らの歴史を作るのは、親でもない、先生でもない、友達でもない、あなた自身なのです。歴史的な大転換点の舞台に立っている今、「自分の歴史を作り、自分の未来をデザインする。その為にはあらゆることに興味関心を持って取り組み、知識と英知を身につける」という強い志を立てて次のステップに歩み出してくれらることを、強く望みます。

最後にこの三年間、時には厳しく、時には優しく皆さん方を手塩にかけて育ててくれた先生方、生まれた時から今日まで、溢れる愛情で育てて貰ったお母様、お父様、ご親族の皆様への、感謝の気持ち、どうか忘れなして下さい。

皆さんのこれからの成長を心より願い、卒業式の式辞とします。卒業、おめでとう。

令和四年三月十七日

明星中学校長

福本真也